

この報告書は、災害教訓の継承に関する専門調査会の下に設けた小委員会において検討され、平成18年3月22日に開催された同調査会で承認されたものである。執筆は、

- (主査) 長谷川成一 弘前大学人文学部・大学院地域社会研究科教授
阿部 綾子 福島県立博物館学芸員
河西 英通 上越教育大学助教授
小松 良博 酒田市役所総務部総務課防災主査
小松原 琢 産業技術総合研究所地質情報研究部門主任研究員
多田 浩之 みずほ情報総研株式会社情報・コミュニケーション部シニアマネージャー
吉川 友章 東京理科大学総合研究所教授
脇野 博 秋田工業高等専門学校人文科学系教授

の各委員が行い、担当は以下のとおりである。

なお、コラム「大火のフオークロア」は執筆協力員として、秋田県立博物館学芸員の丸谷仁美氏が担当した。

はじめに (長谷川成一)

第1編 東北地方の地形と気象

第1章 東北地方の地形

- 1 東北地方の沿岸都市の地形概観 (小松原琢)
- 2 各都市の地形 (小松原琢)

第2章 東北地方の気象

- 1 クリモグラフによる気候特性 (吉川友章)
- 2 火災発生時の気象状況 (吉川友章)
- 3 火災危険度の試算 (吉川友章)

第2編 前近代における北部日本海地域の大火

第1章 青森県域

- 1 青森町の地理的・歴史的特徴 (長谷川成一)
- 2 青森町における主な大火の実態と特徴 (長谷川成一)
- 3 消防体制と大火後の救恤活動—藩政と民衆— (長谷川成一)

第2章 秋田県域

- 1 久保田、土崎湊の地理的・歴史的特徴 (脇野博)
- 2 久保田、土崎湊における主な大火の実態と特徴 (脇野博)
- 3 大火と消防 (脇野博)
- 4 大火と都市計画 (脇野博)

第3章 山形県域

- 1 酒田湊の地理的・歴史的特徴 (小松良博)
- 2 酒田湊における主な大火の実態と特徴 (小松良博)
- 3 御用金と町用金から見る大火後の救済活動 (小松良博)

第3編 近現代における北部日本海地域の大火

第1章 青森県域

- 1 青森市の地理的・歴史的特徴（河西英通）
- 2 青森市における主な大火の実態と特徴（河西英通）
- 3 大火後の都市計画と防災組織（河西英通）

第2章 秋田県域

- 1 秋田市、能代市の地理的・歴史的特徴（脇野博）
- 2 秋田市、能代市における主な大火の実態と特徴（脇野博）
- 3 大火後の防災と都市計画（脇野博）

第3章 山形県域

- 1 酒田市における主な大火の実態と特徴（小松良博・小松原琢）

第4編 1976年（昭和51年）の酒田大火－総合的把握－

第1章 大火の経過

- 1 酒田大火と気象（吉川友章）
- 2 火災の進捗と火災防御（小松良博）
- 3 酒田大火の知見と今後の課題（吉川友章）

第2章 被害の実態と市民生活

- 1 被害の状況（小松良博）
- 2 火災後の対応と市民生活（小松良博）

第3章 大火復興への歩み

- 1 復興への序章（小松良博）
- 2 困難を極めた区画整理事業（小松良博）
- 3 本格的な復興へ（小松良博）

第4章 復興後の防災対策と現況

- 1 大火後の防災対策（小松良博）
- 2 新たな街づくりに生かされた大火後の区画整理（小松良博）
- 3 市民の防災意識の現状と将来への課題（小松良博）

第5編 酒田大火並びに北部日本海地域都市の大火の教訓（多田浩之）

第1章 前近代及び近現代における北部日本海地域都市の大火の特徴と教訓

- 1 前近代における北部日本海地域都市の大火の特徴と教訓（多田浩之）
- 2 近現代における北部日本海地域都市の大火の特徴と教訓（多田浩之）

第2章 酒田大火の教訓

- 1 燃えない街づくり（多田浩之）
- 2 応急対応力（多田浩之）
- 3 住民の防災意識（多田浩之）
- 4 住民への広報・情報伝達（多田浩之）

資料

コラム「大火のフォークロア」（丸谷仁美）

酒田大火並びに北部日本海地域都市の大火データベース（阿部綾子）

なお、事務局の担当は以下のとおりである。

(事務局) 荒木潤一郎	内閣府 (防災担当) 企画官
山腰 裕一	内閣府 (防災担当) 主査
金沢早智子	内閣府 (防災担当) 主査
亀山 夢子	内閣府 (防災担当) 主査 (平成17年6月まで)
松田 淳吾	内閣府 (防災担当) 行政実務研修員 (平成18年3月まで)

平成18年3月

内閣府政策統括官 (防災担当)

本報告書のとりまとめは、財団法人日本システム開発研究所に委託し、実施した。